

- 2,3面 【特集】台中フドーラ世界博覧会・台北・九份視察報告  
(一社)日本造園建設業協会技術・調査部長 野村徹郎  
西武造園(株)管理運営事業部西日本運営部長 金児 維知郎
- 3面 だれにでもわかる『安全な造園作業』テキスト近日発刊、造園教育機関に配布も
- 4面 【ふるさと自慢】徳島県支部 田川 弘 (南海造園土木(株))  
素晴らしい桜や紅葉 季節問わず美しい鳴門市  
【緑滴】栃木県支部 大島 陽子 (南五月女造園)  
「そだねー」今しかないかも…

# 新元号 新時代を展望



鏡開きの後、乾杯に先立ち挨拶する和田新也 (一社)日本造園建設業協会会長

2019年新年造園人の集いは1月7日、東京都港区高輪の品川プリンスホテル「プリンスホール」で開催され、約600人を超える方々が参加して盛大に行われた。

集いは冒頭、世話人を代表し、有路信 (一社)日本公園緑地協会会長が「平成の総括を3つに絞ると、1つ目は経済のバブル絶頂から崩壊とその回復で、来年



有路信会長

度予算は100兆円で消費税増税を含め 62兆円と30年前と同等だが、公共事業は約半分です。GDPもほぼ同等ですが、同時期のアメリカは3.2倍とインフラ投資の有無の違いで、もし日本もしていたら税収も3倍だったと、政策のあり方が問われています。2つ目は災害で、東日本大震災をはじめ、安心できなくなったという状況があります。防災・減災対策をきちんとすれば、軽減は可能であり、対策が望まれます。3つ目はITとネット社会で、信じられないくらいの進歩です。2045年にAIが人間の頭脳を超えるとされ、2030年に労働時間が週15時間になるというケインズの予言も実現され、高齢化は進みますが、改善が図られ、余暇をどう使うかが課題になってきます。これらを踏まえ新しい元号の時代が始まりますが、造園はどうしたらいいか。すでに語られていることですが3つあります。1つ目はSDGs、持続可能な社会を作り出すことで、今までの標榜から行動が求められます。2つ目はグリーンインフラの整備です。グレーかグリーンではなく、新たな考え方によるインフラ整備が求められます。3つ目はいかに人間らしい生活ができる場をつくれるかで、日常的に利用する環境を充足させる私たち造園に関わる分野です。今年ラグビーのW杯が日本ですが、ラグーマンの言葉に「One for all, All for one」があり、こうした心持が大事です。各団体でいろいろな賞がありますが、そうした人やもの・ことの紹介や今年一番活躍しそうな人の表彰を新たな年に向けて提案したいと思います」と述べた。

次いで、学界を代表して、横張真 (公社)日本造園学会会長が、「ソサエティー5.0で、世界中の人やものがITでつながり、バーチャルとリアルの境目がなくなると

いわれています。重厚長大な社会施設や都市そのものの意味が薄れつつあり、世界の人が住んでいる地域の7割が3G以上の速度でインターネットに繋がっており、世界の半数以上の人々が利用しています。こうした世の中になると、公園緑地をはじめとする私たちが関わるものの位置づけも大きく変わってくるのではないかと思います。学会としては、どのようなアプローチでこうした課題に取り組んでいったらいいかを産官学の皆様とともに考えてまいります。毎年5月に全国大会を開催していますが、今年はつくば大学で開催します。より多くの方々に参加していただけるプログラムを考えておりますので、ぜひご参加ください」と述べた。



横張真会長

国土交通省からは、古澤達也国土交通省都市局公園緑地・景観課長が、「この30年間で、予算は平成9年をピークに現在はその半分。国全体の予算は変わっていませんが社会保障費が急激に伸び、公共事業が半分で、この傾向は今後も続くのではないかと考えています。予算の使い方は相当変化し、個別補助から自治体がいやすい交付金になり、都市公園整備5箇年計画も社会資本整備重点計画として、公共事業全体のプランに変わっています。公園面積も一人あたり3㎡の目標を平成5年に10㎡に改正し、現在全国平均10.4㎡で12万haの公園ができました。新たな公園整備から老朽化、あるいは周辺の土地利用、使い方が変化した公園の再生が課題で、量から質へのシフトが平成の時代です。2025年の大阪万博が決定し、2026年の横浜での花博誘致に向けた準備も進めています。これらを含め新たな時代への緑の分野からの提案を皆様のお知恵を拝借し、考えていきたいと思ふ」と述べた。



古澤達也課長

環境省からは、鳥居敏男大臣官房審議官が「今日から出国の際に1人1,000円の国際観光旅客税がはじまり、年500

## 樹林

### 東京オリンピック・パラリンピックへの期待と造園業の将来

(一社)日本造園建設業協会監事  
(株)八廣園 代表取締役 渡邊 進



#### 【植木の安行】

私は、日本三大植木産地の一つである埼玉県川口市安行で生まれ育ちました(ちなみに他の二つは、福岡県久留米市及び兵庫県宝塚市です)。

私が小学校低学年の頃は、全国から業者が買付けに来て、毎年3月10日セリ市の状況を今でも鮮明に覚えています。セリ市は、伯父が経営する安行植木(株)が日本全国植物市場の副会長を務めていたことから、市場開催の権利を持っていたと聞いています。

安行は江戸時代から振袖火事(1657年明暦の大火)や、江戸がたびたびの大火に見舞われた時、関東大震災、第二次世界大戦の後に荒川を渡って、江戸(東京)に植木を運び、大変喜ばれ商売にもなり得たとのことでした。

#### 【前回オリンピックの会場整備】

1960年(昭和35年)頃からの高度経済成長期、当時の日本住宅公社による集合住宅等の整備に際し、植木がたくさん植えられるようになり、植木ブームの始まりとなりました。

1964年(昭和39年)東京オリンピック開催時の会場整備にあたっては、安行の植木が幅広く活用されました。

このオリンピック開催の頃から、植木販売が特に好調となりましたが、一方では商品の手配が困難になり、買いに行っても穂とり(挿し木の穂木)にするからとの理由で、なかなか売って貰えないようなこともありました。

今も安行にある埼玉県植物見本園(現・花と緑の振興センター)付近は、土日に植木を買い求める方々の車で大渋滞が生じていた程です(今回の第32回オリンピック大会に際して、弊社は、真夏の開催となるマラソン競技に緑陰を生み出す街路樹のおもてなしの剪定やミストを活用する休憩所の公園整備に携わっています)。

#### 【目利きの育成】

私は昨年(平成30年)6月まで、日造協の技術委員として技術技能部会

に在籍し、造園施工に携わる技術者を対象とした人材育成研修会の「ものづくり技法編」の作成に携わることができ、大変勉強になりました。この経験を活かして、人材育成研修会講師の育成(プロである目利きの育成)に貢献したいと考えています。

現在、ものづくり大学(埼玉県行田市)の客員教授として、学生に造園の魅力を教え伝えています。伝統工法による構造物総合実習の名庭園見学(都市防災美化協会理事長・中島宏先生の後任)・土堀作り・技能五輪・安行の植木の歴史などの講義を通じて指導にあたり、一人でも多くの人に造園の魅力を伝授し、立派な造園人の輩出に繋がるよう情熱を注いでいます。

また、微力ながら、埼玉県技能検定試験の造園工事における首席検定委員を務めており、多くの技能者を育成したいと考えております。

#### 【緑化フェア】

最後になりますが、日造協埼玉県支部長を10年間務め、緑化フェアの開催地に足を運び、学んだことの一つは、「自分たちの仕事は、自分たちで作れ」という言葉に集約でき、「棚から牡丹餅はない」ということです。

私の夢の一つは、埼玉県で緑化フェアを開催することです。日本の公園の父と言われる本多静六博士が手掛けた大宮公園を再生し、メイン会場として周辺の市と連携を図りながら、開催に結び付けられることを願っています。

またもう一つの夢は、オランダで10年に一度開催されるフロリアード級の国際博覧会、江戸時代の関東代官頭伊奈忠治が手掛けた遊水地である「見沼たんぼ」で開催して世界中の緑の関係者が集うサミットを仕掛けることです(私も3回オランダに足を運びましたが、毎回感動しています)。

わが造園業界は、ますます元気を出して果敢に挑戦する気概が大切と思っています。

億円が見込まれ、旅行客対策に使われます。日本には素晴らしい四季、文化があり、これをいかに発信し、多くの人に来ていただくことが課題です。また、昨年 鳥居敏男審議官4月に第5次環境基本計画が政府全体で策定され、環境だけでなく経済なども含めた問題を同時に解決し、資源循環社会、自然共生社会、低炭素を超えた脱炭素社会の3社会の統合に向けた取組を進めています。実現にあたり私たちのライフスタイルを変えていくことが欠かせず、暮らし方、働き方を考えていく上で重要なことは、一人一人の幸福感で、自然、緑に癒やされるといった造園の関わる場の重要性は非常に大きいと思っています。皆様と連携しこうした社会をつくってい



きたい」と述べた。

酒樽による鏡開きは、各界の代表が壇上に上り行われ、乾杯の発声は産業界を代表して、和田新也日造協会会長が「平成の時代、特に近年は大きな自然災害に見舞われ、減災・防災対策が求められていますが、こうした災害・復旧における造園人の活躍が印象に残っています。新たな元号がスタートする今年、造園人の提案によって、より自然とうまく付き合える社会が構築できるように祈念し、杯を上げたいと思います」と「乾杯」を発声、懇談の場となった。

集いでは、途中、造園関連団体の代表があいさつ。閉会にあたり、金清典広(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会会長が集いの女性参加者の方々とともに登壇し、三本締めを行い散会した。

法定福利費の内訳を明示した標準見積書の活用により、法定福利費の確保を図りましょう!



# 台中フローラ世界博覧会・台北・九份視察報告

(一社) 日本造園建設業協会技術・調査部長 野村徹郎、西武造園(株)管理運営事業部西日本運営部長 金児 維知郎

台中フローラ世界博覧会の概要

会場	展示テーマ	キーワード	博覧会終了後の用途
外埔	【Green】 緑・生産・共有	花と果物の故郷	国際農創園地区
后里馬場森林	【Nature】 自然・生態・共生	花と馬の楽園・ 森林花園	台湾最大の国際標準の 馬術競技場
豊原葫蘆墩公園	【People】 人文・生活・共栄	ウォーターフロント・ 花の都	餅の博物館



台中市と博覧会会場位置図

台中フローラ世界博覧会は、2010年の台北国際花卉博覧会に続き台湾で2回目の開催となる国際園芸家協会(AIPH)から認定された国際園芸博覧会である。

日造協では、博覧会の開催に合わせ、会場視察と台中市、台北市内の緑化や街路樹などの事情を調査するため、2018年12月6日から12月9日までの4日間のツアーを企画し13名の参加者により実施した。

博覧会は、2018年11月3日から2019年4月24日までの会期中、「花が咲くときの音」を共通テーマに、台中市内3か所の会場で開催されている。各会場の展示テーマは、「花で再発見するGNP」「花現GNP-Rediscover Green, Nature and People」と定められ、「破壊せず、最適化を」という設計理念のもと、生産、生



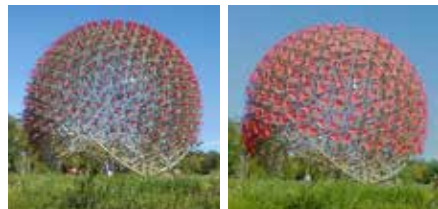
態、生活の三者が絶妙なバランスを取り、自然が望ましい状態に向かい、人類もそこから無尽のエネルギーを汲み取ることによって好循環が生まれるという理念を展示に活かそうとしている。

それぞれの会場では、キーワードで展示計画がされており、会場の立地や地形を有効に活用した計画となっている。また、博覧会終了後の用途計画も定められている。

ツアー参加者は、東京、関西、福岡、富山の各空港から台北桃園空港に集合した後、バスで一路台中を目指して出発した。台中のホテルに到着後、博覧会国際展示エリアに日本庭園を出展している田中造園土木の田中社長と合流し、翌日の会場も案内していただくこととなった。

## 后里 (Houli) 馬場森林会場

視視察に先立ち、后里馬場森林会場のメイン施設である「花舞館」の博覧会事務局オフィスを訪見し、AIPHの台湾代表メンバー機関であるTFDAの理事でAIPH博覧会委員会委員長も務めるKevin Chang (鍾國成) 氏に面会し、ツアー参加者の紹介をした後、博覧会の概要説明に続きVIPルートで花舞館内の展示を案内していただいた。



音に反応して開く花のモニュメント



日本らしく KYK ㊦、施工中、池と流れの防水資材も現地で探し回ったとのこと㊦



1週間で作庭したとは信じられないほどの完成度

花舞館は、2棟の大小2箇所の円形展示場(ホール)を「8」の字動線で移動しながら、台湾が蘭花王国にまるまでの物語がディスプレイされた小ホールと、花のアーティストが最高の展示を披露できるように設けられた大ホールで構成されている。

会期中は約2週間毎に9つのテーマ別に各種コンテストが開催されている。視察当日は、植物の空気浄化や水と土壌の保全に加え、人々の目を楽しませるフラワーアートのコンセプトを環境保護に取り入れることで、人々が花を育てながら地球環境保護の取り組みが出来るという「花による環境保護」をテーマとした第3回目のコンテストが実施されていた。

国際展示のある森林エリアでは、「天水七変化」の庭を設計施工で出展した田中社長から出展庭園の説明を受けた。作庭は実質1週間ほどで完成させたとのこと、事前に設計内容に基づき台湾の造園会社に資材調達を依頼したところ、思



花舞館の展示



日本庭園を設計者の解説付きで視察



ような材料がそろわなかったものの臨機応変に現場合わせで施工し、何とか完成にこぎつけたと苦労話をされていた。

## 外埔 (Waipu) 会場、豊原葫蘆墩公園 (Fengyuan Park) 会場

外埔会場は、台湾の新たな5つの農業の価値として「農民」「農業」「農村」「農産品」「農産加工品」を基礎として、農と食の文化と育種の研究開発、生産加工から包装、販売などの新たな農業バリューチェーンを分かりやすく展示している。

パビリオン、パーゴラ、橋、花壇などいたるところに特産の竹が活用され、会場のテーマを演出していた。

豊原葫蘆墩公園会場は、既存の葫蘆墩公園と軟埤仔溪の河岸を利用して新たな都市のランドスケープを演出している。水辺の生態環境をと生活、文化、親水、エコロジーなどの特色を表現し、植物に



TFDA との懇談、博覧会事務局長挨拶



樹名札の QR コードは多言語、詳細情報



后里馬場森林会場：花と音を演出、竹が効果的に使用されている





巨大な博覧会マスコットと竹の大花壇



外埔会場：花と水の演出と巨大な竹のドーム



都市河川の水質浄化と水辺の利用を演出による水質浄化をアピールしていた。

台北市内と九份

台北市内の高速道路下の駐車場では毎週土日に大規模なフラワーマーケットが開催されており、様々な花や園芸資材がとて買いやすい値段で販売されていて、多くの人々が値段交渉と買い物を楽しむ人気スポットとなっている。

大安 (Daan) 森林公園は、25ha 程の面積を持つ都心の公園で、ピオトープの池があり、蚊よけスプレーの設置や水を取



フラワーマーケットの出店は抽選になるほどの人気



大安森林公園の蚊よけスプレーと面白健康遊具入り入れた健康遊具など利用目線での工夫がされていた。

九份は、1989年に制作された台湾映画「非常城市 (A City Of Sadness)」のロケ地であり、スタジオジブリの映画「千と千尋の神隠し」のモデルとなった街とも言われており、あいにくの豪雨にもかかわらず多くの観光客でひしめいていた。

今回の視察では国際園芸博覧会や市内の状況とともに、台湾の造園産業に携わる方たちとの交流もすることができ、参加者それぞれに得るものがあったツアーであった。



清朝時代の九份金山がノスタルジックな観光地に

だれにでもわかる『安全な造園作業』  
テキスト近日発刊、造園教育機関に配布も

日造協と(一社)日本造園組合連合会は、「だれにでもわかる安全な造園作業」の年度内発行を予定しています。

本書は、「全国造園デザインコンクール」などで連携、2017年に包括協定を締結している全国高等学校造園教育研究協議会から「実習や卒業後にすぐ現場で働く高校生が安全について学ぶテキストがあれば」との提案をいただき、高校生に限らず、造園施工に初めて携わるだれにでもわかりやすく、企業の安全教育にも役立つよう文科省、協議会、造園学会、造園連の方々と日造協・安全部会のメンバーで、編集を進めてきました。イラストや写真を多用し、ビジュアルな編集となっています。ぜひ、ご活用ください。

だれにでもわかる『安全な造園作業』A4判、

オールカラー、96頁、2019.3発行予定。「安全な造園作業」表紙

発刊にあたって

近年、造園の領域は、拡大するとともに多様化し、高度な技術・技能が求められるようになってきました。そのような中、造園建設現場では安全教育の徹底化を図り、お互いが安全作業に努めることで労働災害や事故の発生が減少傾向にあるものの、まだ、「ついうっかり」など認識不足や作業の不慣れなど人為的な不注意による事故が発生するケースが見られるのが現状です。一方、高校などの教育現場では安全に対する意識はあるものの、安全作業に関する資料が整備されておらず、なかなか安全に関する指導の徹底ができていないのが課題でした。

卒業後、即現場で働く高校生などに安全に対する正しい知識や認識を早期に学び、日頃の学校生活の中で繰り返し実践することで、常に安全を考慮した作業に取り組ませ、更に自身の意識や行動を見直すだけにとどまらず、一緒に作業する仲間への注意喚起へと繋げられるように考え、この度、公益社団法人日本造園学会、全国高等学校造園教育研究協議会の学識経験者並びに一般社団法人日本造園建設業協会、一般社団法人日本造園組合連合会の造園関係者と文部科学省、建設業労働災害防止協会に協力いただき、造園安全衛生テキストとして「だれにでもわかる『安全な造園作業』」を発刊する



だれにでもわかる『安全な造園作業』表紙

目次

- 第1章 安全・事故の基本的な考え方
- 第2章 安全とともに大切な社会人としてのマナー
- 第3章 服装、保安用具
- 第4章 造園用具・機械の安全な取り扱い
- 第5章 各論
- 第6章 保健、衛生
- 第7章 現場管理のあり方

【資料】  
「造園」って素晴らしい  
造園を学んだ先輩の体験談



ことになりました。

本書は、造園を学ぶ高校生や学生、新規就労者等を対象にした造園工事における安全労務作業に関する基礎的な「造園安全衛生テキスト」としてまとめました。今後、多くの方に活用され、実際の造園工事現場において実践力を身につけ、更に安全作業に努めて戴きたいと願っております。

本書は造園工事現場における安全衛生に関する正しい知識と技術の習得、危険の予知と回避する行動や判断力を身に付け、周囲への安全の配慮や意識高揚等に努め、活用いただけるように視覚的にわかりやすく学習できるように編集しています。また、各論ではワークシート形式の学習法により本テキストを活用し、グループ協議等で認識や知識を深められるようにしています。

安全な作業は、造園を学ぶ多くの学生・

生徒の皆さんにとって生活の安定や自分自身の健康、夢実現にも繋がる大切な知識でもあります。日頃より本書を学校における実習現場及び学習の場でいつも手元において、必要に応じて参照できる資料集として、また、安全な造園工事を行う様々な学習の場で活用いただくことを願うとともに、造園技術者の安全水準の向上と労働災害・事故を撲滅することにつながることを心から願います。

併せて、造園は、みどりである自然を材料に、誰も快適で安心し癒やされる生活空間を創造し演出する、人を感動させることができる仕事です。多くの高校生や学生が、本書をとおり、造園に魅力を感じ、一人でも多くの方がこの造園関係の業種で働かれることを願っています。造園安全労務テキスト編集委員会編集審査委員 全国高等学校造園教育研究協議会理事長 山梨県農林高等学校教諭 渡辺 清美



徳島県  
ふるさと自慢

# 素晴らしい桜や紅葉 季節問わず美しい美波町



境内にある魚籃観音像  
カゴには伊勢エビも

鳴門市にある大塚国際美術館が一躍脚光を浴びた2018年大晦日。無数のキャンドルに照らされた普段とは雰囲気の違いの違うシステムホールに思わず見入ってしまいました。



遷層坂と瑜祇塔

薬王寺  
1円玉の両替

そんな興奮冷めやらぬまま、初詣にと出掛けたのは、県南部美波町に位置する四国八十八カ所第23番霊場『薬王寺』です。



日和佐の町の眺望

厄除けのお寺として有名で、厄落としのお参りには年齢の数だけ一円玉を置いていくという慣習があります。

参拝客の集中する時期には、なかなかの光景が広がりますので、詳しい参拝方法はぜひ現地に行って確かめてみたいと思います。

仁王門をくぐり参道を進むと、まず女厄坂そして男厄坂と上っていくと本堂があり、さらに奥の遷層坂を上りきると、麓からも見えていた朱の鮮やかな瑜祇塔に辿りつきます。

坂と呼ばれていますが、それぞれ33段42段61段と厄年に因んで造られた石段で、上りきった先に待つ景色も必見です。

道の駅が近く、足湯も併設されています。参拝、ドライブの休息とともにお土産をさがしてみてください。

今回ご紹介する食べ物は、道の駅産直館で購入した勝浦川の水で作った食物繊維いっぱいスープやサラダにも使える「もち麦」と、魚の燻製がメインの燻製屋さんのチーズの燻製、そしてお気に入りの「燻製大豆の醤油漬け」です。次回購入したいのはウツボ。何度か食べたことはありますが、今度は自分で調理してみたいものです。

桜や紅葉の時期も素晴らしく、季節問わず徳島へお越しの際はぜひ一度訪れてほしいスポットです。

田川 弘 (南海造園土木株)



## 「そだねー」今しかないかも



自転車で散歩

私には、元気のいい息子がいます。平日の朝は、学校 保育園へ行く三人を見送ります。帰宅後は、宿題を確認し間違えたところを訂正させます。とにかく慌ただしく一日が過ぎてしまいます。

休日は、子どもたちと楽しいひと時を過ごしています。公園で遊んだり 自転車で散歩したりしています。

外遊びや自転車は、子どもはもちろん私も思いっきり楽しむことができ気分転換になります。

人気の遊具ターザンロープは、風とスピード感を感じることができ面白く何度も繰り返し遊びます。



それから春は、イチゴ狩り。春の心地よさを感じて桜並木を散歩。

夏は、プール 早起きして虫とり。

秋は、食欲の秋でもあるので近場のやなに出掛けせせらぎを聞きながら、子どもたちは夢中になって鮎を掴みとり、川を眺めながら食べる鮎料理は、美味しいです。

冬は、凧あげ 星空が綺麗なので満



ターザンロープ



あゆのつかみどり

点の星を眺めたり四季の移り変わりを感じ、自然とふれあう事も大切にしています。

現代は、タブレット ゲームなど室内で過ごす事が多く、外遊びなど体を動かす時間が少ないように感じます。

そして、平日の放課後は学童と習い事で子どもと過ごす自由な時間をとることが難しいです。

そのようなことから休日子どもとおもいきり外遊びすることは、とても貴重な時間であります。

また、心身共に元気になります。しかし、あと何年子どもと遊びを共有できるでしょうか？

そう思うとやはり、今のこの限られた時を大切に心ゆくまで遊びたいです。

- 27(日) 全国造園デザインコンクール 審査会
- 30(火) 造園フェスティバル推進部会
- 29(月) 建専連企画委員会
  - ・日本植木協会総会後意見交換会
- 30(水) 事業委員会 (造園フェスティバル推進部会)
- 31(木) 技術委員会 (安全部会)
  - ・造園工事の高所安全作業標準マニュアル検討会

- [2月]
  - 1(金) 沖繩国際洋蘭博覧会審査会



道の駅の足湯 今回のお買い物 (右下の燻製大豆の醤油漬けがお気に入り)



- ・国際委員会
- 4(月) 財政・運営部会
- 5(火) 広報活動部会
- 6(水) 中国総支部・支部交流会
  - ・中国地方整備局との意見交換会
  - ・登録造園基幹技能者講習委員会 (試験委員会)
- 7(木) 運営会議
- 8(金) 街路樹剪定士認定委員会 (試験部会)
- 12(火) 地域リーダーズ勉強会 (京都) ~ 13
- 13(水) 女性活躍推進部会
- 14(木) 事業委員会 (要望・提言活動部会)
- 15(金) 登録造園基幹技能者講習委員会
  - ・登造園人の集い報告会
- 17(日) 事業委員会
  - ・全国造園デザインコンクール表彰式
- 19(火) 造園領域発展戦略委員会・戦略立案部会 合同会議
- 20(水) 九州総支部・支部交流会
- 26(火) 事業委員会 (人材育成部会)
- 27(水) 関東地方整備局との意見交換会
  - ・第4回造園施工管理技術検定委員会

- [3月]
  - 1(金) 技能グランプリ (開会式1日、競技2~3日、閉会式4日)
  - 5(火) 街路樹剪定士指導員研修会・スキルアップ研修会 ~ 6
  - 8(金) 「新たな公民連携のあり方」Park-PFI シンポジウム (中国ブロック (広島市))
  - 12(火) 街路樹剪定士認定委員会 (試験部会)
  - 14(木) 「新たな公民連携のあり方」Park-PFI シンポジウム (四国ブロック (高松市))
  - 15(金) 街路樹剪定士認定委員会
  - 18(月) 財政・運営部会
  - 26(火) 地域リーダーズ オンライン会議
  - 27(水) 運営会議
  - 28(木) 総支部長等会議
    - ・第2回通常理事会
    - ・役員懇談会

## 委員会等の活動

- 財政・運営部会
  - ◎2/4 平成31年度事業計画(案)、平成31年度収入収支予算等についての審議を行った。
- 広報活動部会
  - ◎2/5 日造協ニュース2~5月号の内容等について審議した。
- 技術・技能部会
  - ◎12/18 高校安全テキスト編集会議を開催した。
- 安全部会
  - ◎1/31 平成29年度の技術委員会関連の事業報告と来年度の計画について、講演会の開催及び現地視察を行った(午前)。造園工事の高所安全作業標準マニュアル検討会を開催した(午後)。
- 造園フェスティバル推進部会
  - ◎1/30 平成29年度の開催報告。平成30年度「新春座談会」内容について検討した。
- 全国造園デザインコンクール 予備審査・本審査
  - ◎1/26,27 応募作品について審査を行った。
- 登録造園基幹技能者講習委員会 (試験委員会)
  - ◎2/6 平成29年度登録講習(修了試験)の可否判定について、造園偏テキストの作成について、平成30年度登録講習・更新手続き計画等について検討した。
- 植栽基盤診断士認定委員会 (試験部会)
  - ◎1/18 植栽基盤診断士認定委員会 (試験部会) ビデオ撮影を行った。
- 女性活躍推進部会
  - ◎1/21 日「造園の仕事を知ろう」出前講座(近畿総支部)を開催した。
- 国際委員会
  - ◎2/1 海外姉妹都市の日本庭園修復事業の情報提供の審議。国土交通省から「平成30年度姉妹都市等海外日本庭園修復モデル事業の応募について(依頼)」について各県支部長、事務局長宛に地方公共団体の担当者へ事業の周知を依頼した。

編集後記 庭先の梅が花を咲かせ、春の訪れを感じていましたが、気温は安定せず。クシャミが止まらず花粉症の症状が出ているので間違いなく春は近いと思うのですが…

## 事務局の動き

- [1月]
  - 7(月) 新年造園人の集い
  - 10(水) 登録造園基幹技能者講習 (山形会場) ~ 1/11
  - 16(水) 造園・環境緑化産業振興会 若手交流研修会
  - 18(金) 沖繩総支部・支部交流会
  - 22(火) 登録造園基幹技能者講習 (東京会場) ~ 1/23
  - 25(木) 登録造園基幹技能者講習 (大分会場) ~ 1/26
  - 26(金) 全国造園デザインコンクール 予備審査